

2024年1月19日

イオンモール株式会社  
双日株式会社

## インドネシアのイオンモールにおける太陽光発電設備の設置・稼働開始

イオンモール株式会社（以下、「イオンモール」）、双日株式会社（以下、「双日」）は、再生可能エネルギー電力の活用によるCO<sub>2</sub>排出量削減に向け、双日の持分法適用会社PT SURYA NIPPON NUSANTARA（以下、「SNN社」）を通じて、インドネシア共和国における1号店「イオンモールBSD CITY（以下、「BSD CITY」）」に屋根置き太陽光発電設備を導入、2024年1月中に稼働を開始する予定です。

今回の取り組みでは、BSD CITYの屋上に総面積約4,244㎡、年間の発電容量計1,161MWhの太陽光発電パネルを設置します。本取り組みにより年間のCO<sub>2</sub>排出量を約712トン削減する見込みです。さらに、同国で建設中の5号店「イオンモール デルタマス」においてもSNN社を通じて屋根置き太陽光設備の設置を進めております。

イオンは、2018年に策定した「イオン 脱炭素ビジョン」に基づき、2025年までにイオンモールにおいて実質CO<sub>2</sub>フリーの電力調達を進めながら順次地産地消の再エネへ切り替え（PPA手法含む）、2040年までに日本国内の直営モールで地産地消の再エネ自給率100%を目指しています。インドネシアにおいては4モールを開発・運営しており、今後も脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの活用を積極的に推進してまいります。

双日は、インドネシアにおいてSNN社を通じ、屋根置き太陽光発電に加えて、蓄電池、EV関連事業、省エネ、水素・アンモニア・バイオ燃料などのゼロエミッション燃料供給サービスなどを提供する予定であり、統合的な脱炭素ソリューションを通じて、お客さまの脱炭素化をサポートしていきます。



イオンモールBSD CITY

### 【イオンモールの概要】

|       |  |
|-------|--|
| 会社名   | イオンモール株式会社   |
| 設立年   | 1911年（明治44年）11月  |
| 本社所在地 | 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1                                       |
| 代表者   | 岩村 康次  |
| 事業内容  | 大規模地域開発及びショッピングモール開発と運営<br>不動産売買・賃貸・仲介 [国土交通大臣（4）第7682号] |

### 【双日の概要】

|       |   |
|-------|---|
| 会社名   | 双日株式会社                                    |
| 設立年   | 2003年                                     |
| 本社所在地 | 東京都千代田区内幸町2丁目1番1号                         |
| 代表者   | 藤本 昌義                                     |
| 事業内容  | 国内外での多様な製品の製造・販売や輸出入、サービスの提供、<br>各種事業投資など |

### 【SNNの概要】

|       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 会社名   | PT Surya Nippon Nusantara            |
| 設立年   | 2022年                                |
| 本社所在地 | インドネシア共和国ジャカルタ首都特別州                  |
| 代表者   | Nadya Ajani Hananto                  |
| 出資構成  | PT ENERGI MITRA INVESTAMA 51%、双日 49% |
| 事業内容  | インドネシアにおける屋根置き太陽光事業                  |

### 【関連リリース】

2023年11月20日

[双日・EMI、脱炭素エネルギーソリューション会社を共同設立、インドネシアで屋根置き太陽光事業に参画 | 双日株式会社 \(sojitz.com\)](#)

### 【本件に関する問い合わせ】

イオンモール株式会社 社長室 広報グループ 043-212-6733